

# 名家連ニュース

令和2年7月24日(金)  
発行：特定非営利活動法人  
名古屋市精神障害者家族会連合会  
会長 堀田 明  
TEL/FAX(052)846-5576 NO.737号

## 連続講座 精神疾患の理解と対応 2 第2回

本間貴宣さんによる連続講座が、7月21日(火)、総合社会福祉会館7階大会議室で、52名が参加して開催されました。今回から、「当事者が語るリカバリーストーリー」(全8回)が始まりました。トップバッターはSさん(女性)でした。

今回の講座は、Sさんの発表(30分)、本間さんからの質問(15分)、会場からの感想(15分)、グループ討議(15分)、質疑応答(30分)という流れで進みました。

Sさんは、統合失調症と診断され医療保護入院に至るまでの話、その後、デイケアに通い始め、働き、結婚、出産、現在に至るまでの話、みんなに伝えたいことの3部に分けて話されました。

入院前後は記憶がなく、気がつけば父が目の前にいて、それから毎日欠かさず面会に来てくれた。日記を付け始めて、父の面会を楽しみにしている自分に気がついた。自分が必要とされていると思えた。というお話が大変印象に残りました。

伝えたいこととしては、

- ・自分は大切にされていないと思った時があったが、1人じゃない、支えられていることに気がついた。
- ・変わりたいという前向きな気持ちを持ち続けて、自分の役割を見つける。
- ・自分は特別ではない、リカバリーはみんなにある。

を挙げられました。

本間さんからの質問(Q)とその答え(A)から2つ紹介します。

Q:Sさんにとって病気の意味は?—A:家族が本当の家族になった。どちらかという世間体を気にするタイプの母も、家族の膿を出してくれたと言ってくれた。

Q:病気の状態の時の接し方のアドバイスは?—A:はれものとして扱って欲しくない。動揺を隠さず一緒に悩んで欲しい。勝手に決めず、本人に聞いて欲しい。

参加者全員が感想をマジックでA4の紙に書き、その中からSさんが選んだ内の3つを紹介します。

人の力  
家族の愛  
自分を信じる

根気よく寄り添う  
父は1番の薬  
バンザイ パパ

支えたい  
心があふれる

以上が、今回の講座の概要です。(講座内容紹介：担当理事/広瀬)

**連続講座 今後の予定 次回は8/28(金)10:00～12:00**

原則として毎月第3火曜日 14:00～16:00

8/28 ※1	9/15	10/20	11/17	12/15	1/19	2/24 ※2	3/16
---------	------	-------	-------	-------	------	---------	------

※1 午前10:00～正午、第3火曜日とは異なる。 ※2 第3火曜日とは異なる。